

## 和 になろう 県内で市民活動を行う団体や人を紹介します No.77 NPO 法人和歌山心不全アラート

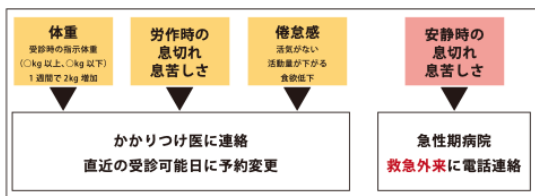
### 高齢化社会で急増する心不全

この団体は、地域共通のツールを用いることで、医療・介護従事者の多職種連携を可能とする仕組みを構築し、心不全療養の質向上及び連携促進を目指しています。

高齢化社会の進行にともない心不全患者の数は増加傾向にあり、感染症患者の爆発的な広がりになぞらえて「心不全パンデミック」と呼ばれる時代になりつつあります。

心不全の病状悪化を避けるには入院中の治療、退院後の生活習慣の改善や規則正しい薬の服用、日々の血圧・脈拍・体重の測定、さらには自身の症状をチェックすることが不可欠となっています。ですが、そもそも心不全の悪化判定は難しい部分もあり、臨時受診に行くべきか個人で判断がしにくい、療養指導のパンフレットが地域で統一されていない、医療スタッフによる療養指導の質に差があるなどの課題があります。

そういった事態を解決するため、NPO 法人和歌山心不全アラートでは「心不全アラート」と「和歌山心不全手帳」の普及に努め、心不全医療体制の改良を目指しています。



「心不全アラート」における基準

### 「心不全アラート」と「和歌山心不全手帳」

「心不全アラート」はどのような症状が出たときに救急要請や臨時受診のタイミングであるかの目安を示す基準・指標です。この基準に従った対応を提案することで、患者さんと医療機関の双方でスムーズな対応を取りやすくなるのが期待できます。

「和歌山心不全手帳」は、心不全の患者さんに体調や服薬状況を自身で記録してもらい、「心不全アラート」の基準と照ら

し合わせることで自分の健康状態を日々確認することが簡単にできるようになります。これにより症状の悪化傾向を早期に察知することで、未然に症状の悪化を防ぎ、回避することにつながります。これまで発行されてきた第1版から現場の意見をフィードバックし改良された第2版が発行予定です。

### 和歌山心不全手帳



「和歌山心不全手帳」表紙には「きいちゃん」が。

### 垣根を越えての連携

前身である任意団体「和歌山心不全地域連携の会」としてシステムを構築し、医療・福祉・介護に携わる多くの専門職と協力し、顔の見える関係を合言葉に、施設の垣根を越えて連携してきました。

現在は和歌山市内での運用がほとんどですが、将来的には各地域の専門機関とも連携し、和歌山県下全域での運用を目指して、医療・福祉・介護従事者を対象とした年2回の講演会「Wakayama HF ALERT」や、開業医・訪問看護師・ケアマネージャーなど専門家対象別に開催してきた小規模勉強会などで「心不全アラート」の普及を図って活動中です。

心不全患者さんとそのご家族、そして現場で働く専門職の皆さんの未来を支える活動にこれからの期待が高まります。



特定非営利活動法人  
和歌山心不全アラート  
NPO Wakayama Heart Failure Alert

特定非営利活動法人 和歌山心不全アラート  
URL <https://wakayama-hf.org/>



### INDEX

表紙：NPO 法人わかやま心不全アラート

p.1：特集 会費・寄付を考える

p.2：新規設立 NPO 法人、助成金 & 公募情報・イベント情報

p.3：和歌山県 NPO サポートセンターからのお知らせ